

明

治維新から150年、2018年の大河ドラマの主人公は西郷隆盛です。

薩摩(鹿児島)の一介の下級武士から身を起し、明治維新を成し遂げた西郷隆盛。しかし、この稀代の英雄には、肖像写真が一枚も残っておらず、その生涯は多くの謎に包まれています。本展覧会は大河ドラマと連動しながら、西郷隆盛ゆかりの歴史資料や美術品などによって、「西郷どん」の人物像と激動の時代を浮き彫りにします。

西郷の風貌を最も忠実に伝えられる肖像画や、座右の銘を記した書「敬天愛人」。西郷がその婚礼に尽力した篤姫が所有していた華麗な調度品には多くの展覧会初公開品が含まれます。また幕府瓦解のきっかけとなった幕末の最重要史料「討幕の密勅」も登場。そして、あの有名な銅像「上野の西郷さん」の制作過程を物語る新出写真まで、西郷隆盛の魅力のすべてを味わいつくす展覧会です。

生前の西郷に幾度も接した庄内藩士・石川静正が西郷没後に描いた肖像画。西郷を知る多くの人が称賛したことから、数多く残る西郷の肖像画の中でも、もっともよく風貌をとらえたものとされる。

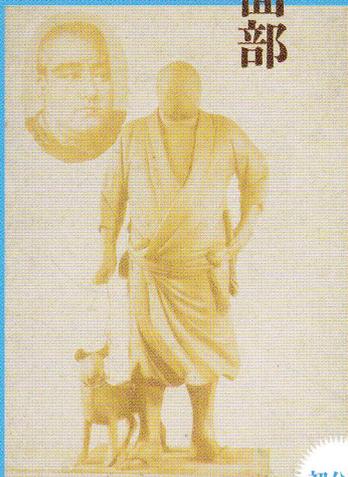


石川静正筆 西郷隆盛肖像画

個人蔵

西郷隆盛 未成像并面部

東京藝術大学



初公開



初公開

西郷隆盛所用 刀装具

「縁頭・目貫」

個人蔵

大好きな西郷が地元鹿児島島の住民から白い名犬ユキを借り受ける代わりに渡したという逸話が残る刀装具。繊細な装飾が施された縁頭(ふちがしら)と目貫(めぬき)で、下賜品とも言われる。大好きな西郷どんならではの逸品だ。

「上野の西郷さん」銅像の制作過程を示す貴重な古写真。木型制作の段階で、西郷と犬の顔面がのっぺらぼうだ。肖像写真を残さなかった英雄の面貌をどう表現するか、東京美術学校教授・高村光雲率いる制作チームが、苦悩していたことが分かる。(展示期間: 5/26 ~ 6/17)



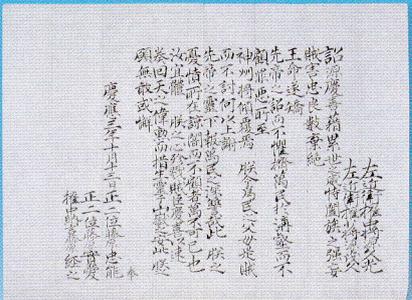
江戸城の無血開城を決めた、西郷隆盛と勝海舟の会見の様子。結城素明が描いた名作の精巧な下図である。

江戸開城談判下図

明治神宮

詔書

左近衛権将隆盛宛



討幕の密勅

鹿児島県歴史資料センター 黎明館 玉里高津家資料

幕府の権威強化に努める徳川慶喜に対抗するため、西郷らは武力討幕を計画。1867(慶長3)年10月14日、朝廷より薩摩藩へこの密勅が下されたことにより、幕府瓦解への道が大きく開かれた。(展示期間: 5/26 ~ 6/17) ※期間外は複製を展示

展覧会概要

会期=2018年5月26日[土]-7月16日[月・祝] 会場=東京藝術大学大学美術館
開館時間=午前10時-午後5時[入館は閉館の30分前まで] 休館日=毎週月曜日[7月16日は開館]
主催=東京藝術大学、NHK、NHKプロモーション 協賛=NISSHA、ハウス食品グループ、ロート製菓

観覧料

	当日	前売	団体
一般	1,500円	1,300円	1,200円
高校生	1,000円	800円	700円
大学生			

- ◆中学生以下は無料 ◆障がい者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料
- ◆団体料金は20名以上(団体観覧者20名につき1名の引率は無料)
- ◆前売券は5月25日[金]まで販売 ◆会期中は当日券のみを販売
- ◆チケット販売所:東京藝術大学大学美術館ホームページ、チケットぴあ(Pコード:991-575)、e+(イープラス)、ロッソンチケット(Lコード:30329)など主要プレイガイド(手数料がかかる場合があります)



交通案内 ◆JR上野駅(公園口)、東京メトロ千代田線根津駅(1番出口)より徒歩10分 ◆京成上野駅(正面口)、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅(7番出口)より徒歩15分 ◆駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。

東京藝術大学大学美術館

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8
問い合わせ=03-5777-8600(ハローダイヤル)

大学美術館ホームページ <http://www.geidai.ac.jp/museum/>